

友好の絆 より強く

登別・サイパン中学生交流事業

平成18年11月に友好都市提携を結んだサイパン市の中学生7人と引率2人の9人が、2月11日(月)から15日(金)まで登別市を訪れました。サイパンから中学生が訪れるのは、今回で5回目。訪問団はホームステイしながら、雪遊びや市内の中学校への訪問、テーマパークの見学、陶芸体験、登別温泉の入浴体験などに積極的に参加しました。

市民活動センターでは、『和紙の会』の皆さんと、はがきの装飾や折り紙を体験するなど、5日間にわたり市民との交流を深めた訪問団は、元気に帰国していきました。

2/11
~15



▲パソコンを使い思いを伝える参加者たち



▲折り紙を体験する様子

直接会って
ざっくばらんに

市長室フリータイム

1月29日(火)、登別公民館と市役所で『市長室フリータイム』(市主催)が行われ、事前に申し込みをした4名1団体が、日ごろ考えている『まちづくり』について市長と話し合いました。

市長室フリータイムは、市長と会って自由に話し合うことができる機会を広げることが目的に、平成元年から毎年開催されています。参加者は、新たな産業の発掘による地域の活性化や津波災害時の避難経路、停電時の情報発信のあり方、市民協働・市民力発揮のまちづくりなど熱い思いを市長にぶつけました。

1/29

市民のパワー結集
広がれ市民活動の輪

市民活動交流フェスタ『ザッツ・むすびば』

2月16日(土)、市民活動センター『のぼりん』で、『市民活動交流フェスタ ザッツ・むすびば』(市主催)が行われ、『市民活動の輪をのぼりんからひろげよう』をテーマに、市内近郊で活動する市民団体など約60団体が参加。日ごろの活動成果を披露しました。

パフォーマンsslライブでは人形劇やアコースティックギター、琴の演奏など、登録団体による熱のこもったパフォーマンスが行われました。

また、体験ブースでは華道体験や魚拓体験、キッズ体験コーナーでの絵本の読み聞かせなど、バラエティ豊かなコーナーが用意されたほか、団体を紹介するための展示ブースが設けられ、団体や市民に向けて活動のPRをしたり、参加者と登録団体の会員が和やかに言葉を交わしながら、交流する姿が見られました。

2/16



▲バラエティ豊かな体験コーナーの様子